

る。さらに、国際会計基準委員会（IASB）がコア・スタンダードの全項目について国際会計基準を設定する作業に着手し、2000年5月に全項目が完成した。証券監督者国際機構（IOSCO）は同月に、加盟メンバーに対し30の国際会計基準の受け入れを勧告している。これにより国際会計基準に基づく財務諸表がアメリカを含む各国の証券取引所で受理されるようになり、企業情報の国際的比較性が格段に向上した。こうした状況の下で、わが国の会計基準の改正、新基準の導入そして関連法規の改正が行われたのである。

当該プロジェクトにおける小生の調査研究は連結会計、連結納税、減損会計に焦点を絞って進行中である。

（経営学部教授）

## 愛知国際万博と環境配慮

柳田 仁

2月下旬に、愛知国際万博の開催者である（財）2005年日本国際博覧会協会、愛知県国際博推進局、長久手町役場、瀬戸市役所でのヒアリング、会場になる長久手町の青少年公園、瀬戸市の海上の森を視察してきた。

愛知万博で、「環境、環境と騒いでいるのはマスコミだけだ」と暴言を吐いた担当者もいたが、ほとんどの関係者は親切に対応してくれ、造成中の会場まで案内してくれた担当者もいた。

### 1 愛知国際万博の開催経緯

ハノーバー万博開催以前から準備してきた愛知万博も漸く開催準備が軌道にのり、訪問日の2月25日には「開催日まで後759日」と電光板に流れていた。開催までちょうど2年前の本年3月25日には行事を予定しているという。

2年前の回目の訪問時には、まだ開催の賛否を問う声が処処で聞かれた。その直後の堺屋太一氏の会長就任・辞任と計画が二転三転したが、落ち着くべきところに落ち着いたようである。

### 2 現在の準備状況

全体的には、土地造成中というところが多い。

出展企業・団体も9グループが漸くそろった。前回の万博のような申込数はなく、

募集数ギリギリで主催団体は胸をなでおろしたという。ちなみに、その名称を挙げれば、以下の9グループである。

電気事業連合会、東海旅客鉄道（株）、（社）日本自動車工業会、三菱グループ、トヨタグループ、日立グループ、三井グループ、（社）日本ガス協会、（株）中日新聞（共同出展）

まだ、出展企業にヒアリングできる段階ではなく、具体的な計画の出始めるのは6ヶ月位先とのことである。

### 3 環境保全のための諸方策

全体的には、環境アセスメントの実施等である。

個別的には、会場への車の乗り入れ禁止、モノレールの運行、電気自動車の導入、太陽熱発電等を考えているという。

### 4 諸課題

準備段階での市民への諸課題：交通渋滞、造成現場隣接の住宅への種々の環境問題

現場で見た造成予定の丘の上の、引き取り手のない数本の樺の木が気になった。今後種々の問題が、発生してくるであろう。

以上、今回の出張の概要を記述した。今後、更に調査・研究を続け、この分野の業績を発表したい。

（経営学部教授）

## 医療機関の管理会計

木下 照嶽

### I 高齢社会の意義

#### 1. 医療機関の環境分析

21世紀の到来とともに、病院や医院を中心とする医療機関をとりまく環境は、大きな変化を迎えている。その中には、急速な高齢社会への発展、高齢者を中心とする医療費の国および個人の負担過重、医療技術の飛躍的発展による医療機関の経営と会計問題、健康で自立できる高齢社会を支えるライフスタイルのあり方と、それ